

大きな差を生む 1つの小さな成功習慣

『やる気と結果を出す
学習法シリーズ④』



Hisanao

周りとの差を生むにはどうしたらよいでしょうか。

半分結論を言えば、「周りを倒す」必要などありません。

全ては自分との戦いです。

周りがどこにいるか探すのではなく、自分がどこに行きたいかで足を動かせばよいのです。

では、どこを目指してどのように走れば、
気が付いた時にはトップの景色が見えているのでしょうか。

私は決してトップなどではないただの若造です。

絶対的には、とんがりと弱点だらけのジグザグで歩きにくい生き方です。

ただ、誰だって四半世紀ぐらい必死に生きてくれば、

無数の生き方が合わさる世界で、相対的にはいくつかてっぺんぐらいは取れます。

自分の経験と、数々のトップランナーを研究した結果を踏まえ、

1つでも使える新しいノウハウを言葉にできたらなと思います。

そこで、残り半分の結論。

周りとの差を生むには、周りがやらないことをやればよいと思います。

シンプルに言えば、「つらいこと」も逃げずにやっておくこと。

「みんな」が、無駄や嫌だと言ってやらない事で社会は溢れています。

例えば、多くの大学生が当たり前の「授業に出る」ことができない。

きちんと起きることも、約束を守ることも、挨拶もできないとか。

「みんな」もやっていないし、全てに当てはまる「意味がない」、「なんかおかしくない？」という大好きな言葉で逃げられる。

一方、「みんな」もやる楽しいこと、簡単なことはしっかり押さえます。

飲み会に行き、休日はスポーツに出かけ、人気のラーメンに2時間待ってしっかり写真を撮ります。

何もせずにネットをいじるだけの大半と比べると、これが「充実」のように映ります。

「差を生むこと」が勝つためどころか生きるために必要になる話は、別の記事でしてきたので割愛します。

ただ、今に満足できずに人生を進ませたい。

一度きりの人生、一旗揚げたいと思う人は、大切な事を覚えておいて下さい。

人と同じ事で勝つより、人がやらない事で勝つ方が、はるかに勝率は上がります。

誰でも8はやる物を、自分だけ全てをかけて10やったところで差は2。

他が1や2でやらなくなる物を、頑張って5や6まで持っていだけで、差は上記の2倍以上。

そのやらない事こそ、つらいこと、つまらないこと、大変なこと。

その中に、「勉強」も入っているのです。

例えば、お酒で人より抜きんではには相当な鍛錬が必要です。

誰と飲みに行っても「強いな」と喜ばれ、一晩中飲んで騒いでも、翌朝は何でもないように仕事ができる。

これは立派なスキルです。

同様に、誰と行ってもスノボが上手い、歌が上手い、オシャレ、で覚えられるほどになるには、

時間と何より相当なお金をかける必要があります。

誰でもできる事で、「あの人は〇〇が凄いよね」と覚えられるのは貴重な「差」です。

実は仕事も同じだと思います。

早起きして満員電車に乗り、難しい人間関係の中「やれ」と言われた仕事をなんとかこなしていく。

自分にとっては力を使い果たす大冒険で、SNSで最終電車報告やご褒美カフェ報告をしたくなるかもしれません。

けれど、仕事は誰でもやっています。

いくら豊かな日本と言えど、20代半からは自分の頭と体で価値を生んで飯を食うのは当たり前。

その点で、誰でもやる仕事の中でも、明らかな差を生める人はやはり特別だと思います。

このように、朝早く起きて、好きでもない仕事をこなし、残業にしろ飲み会にしろ帰宅は遅い平日。

そんな「頑張っている」自分に、休日はみんなと一緒に遊ばせてあげてご褒美をあげる。

そこまででは、周りと同じです。

仕事に直結する知識で精一杯。

もう今しか知識や経験なんて掘げられないけれど、これ以上「頑張る」と体力的にも肉体的にもつらい。

その最後の一步が、大きな大きな差を生むように思います。

子供の時から最後の一步に対する葛藤は続いてきます。

ゲームしたい、部活で疲れた、女の子と遊びたい、眠い、ストレス発散したい。

人間としての自然な欲求に、一步踏み止まる習慣を、あなたは持ってきましたか？

私はしんどいと感じた時こそチャンスだと思ってきました。

ここで大半のやつは止めるぞ、と。

諦めたい、帰りたい、寝たい、逃げたい、というポイントで、

「**95%**のやつは消えたから、ここからが差別化だ」と奮い立たせる。

確かにその結果、体と心に傷跡は残っていましたが（笑）、

私が「この人には勝てない」と感じる人は、例外なくどでかい戦利品をいくつも持っています。

ぜひ、周りではなく上を見てみて下さい。

人ができることなど当たり前でできる。むしろ半分以下の時間でできる。

95%にとっての大冒険を準備運動にし、人と違う事こそこれでもかと積み重ね、

日本で自分だけの組み合わせを手に入れた人はたくさんいます。

しんど過ぎると思った時こそ差別化。

これは経験から、自信を持って断言できます。

しんどい時ほど、どうにかしたいと必死になって学び、試行錯誤しますから、一番成長する時でもあります。

どうぞ自分自身へ、ご褒美に加えて次の宿題を渡してあげてください。

2014年3月27日

=====

著者 : *Hisanao*

TOEIC満点、作家、IT企業グローバル系人事。
慶應義塾大学→UCLA→大手IT企業。

=====

ブログ :

[一步世界へ ~Lead Japan to the World ! 「英語と感動のある人生へ」~](#)

ビデオ :

[TOEIC満点のひとこと英会話講座 \(YouTubeチャンネル\)](#)